

# 逃げどきマップで考えよう！ 洪水からの避難対応

裏表紙の裏側の折込みを開いて、  
逃げどきマップ判定フローで確認しましょう。

逃げどきマップは、**どのような行動をどんなタイミングで行うべきなのか**を示した地図です。国と埼玉県が、およそ 1000 年に一度の確率で降る大雨による浸水を想定し、計算した浸水の深さ、家屋が倒壊するおそれのある区域、浸水が続く長さの結果に基づいて作成しています。

逃げどきマップは、以下の浸水想定区域図及び水害リスク情報図を基に作成しています。

利根川水系利根川洪水浸水想定区域図  
利根川水系江戸川洪水浸水想定区域図  
利根川水系小山川洪水浸水想定区域図

荒川水系荒川洪水浸水想定区域図  
利根川水系中川流域洪水浸水想定区域図・水害リスク情報図

河川ごとの浸水の状況は、7～12 ページでご確認ください。

Q 浸水の  
水深が深いと  
どうなるの？

自宅の一番上の階も  
浸水するかも。  
どうしよう？

浸水が始まる前の  
早めの避難が不可欠！

Q 浸水が  
長期間続くと  
どうなるの？

長期間、  
電気・ガス・水道などが  
使えなくなるかも。  
どうしよう？

自宅にとどまることになったら  
それなりの備えが必要！

## 逃げどきマップの見方

いつ、どこに逃げるかを自身で考えてみてください。

- 1 お住まいの地区の逃げどきマップを開く。
- 2 逃げどきマップ上で自宅の位置の色と模様を確認する。
- 3 裏表紙の裏の折込みを開き、判定フローで自宅を判定する。
- 4 判定結果をもとにあなたの避難行動を確認する。
- 5 指定避難所の安全レベル等を参考に、3つのパターンの避難先を検討し、49 ページのわが家の防災行動メモに記入する。

**命を守ることを第一に、ご自身の判断で適切に行動してください**

逃げどきマップで判定できる避難行動は、あくまで想定された計算上のひとつのシナリオをもとにしたものです。実際の洪水はそのとおりに発生するとは限りません。気象情報や水位情報、避難情報など、**周辺の状況に注意をはらって、ご自身で命を守るために最善と思われる行動をとるようにしましょう。**

## 避難所・避難場所の安全レベル

安全レベル	洪水時の避難所の状況
★★★★	浸水のおそれが低い、または浸水しても床下浸水程度となる拠点避難所兼指定緊急避難場所
★★★	1階床上以上の浸水となるが、上階等一部が利用可能な拠点避難所兼指定緊急避難場所
★★	上階等一部が利用可能だが、家屋倒壊等氾濫想定区域か、1週間以上浸水が継続する区域内にある拠点避難所兼指定緊急避難場所
★	上階等一部が利用可能だが、家屋倒壊等氾濫想定区域か、1週間以上浸水が継続する区域内にある拠点避難所兼指定緊急避難場所
★なし	拠点避難所兼指定緊急避難場所以外 ※ 拠点避難所兼指定緊急避難場所を優先して開設します。

※利用可能階数は、建物の床面の高さを考慮して設定しています。

逃げどきマップでの避難所・避難場所の表記(例)

〇〇小学校 — 避難所・避難場所の名称

安全レベル ※安全レベルは拠点避難所兼指定緊急避難場所のみに設定

避難所・避難場所種別

- 拠点避難所兼指定緊急避難場所 (地震 洪水)
- 補助避難所兼指定緊急避難場所 (地震 洪水)
- 補助避難所兼指定緊急避難場所 (地震)
- 指定緊急避難場所 (地震 洪水)
- 指定緊急避難場所 (地震)
- 福祉避難所
- 一時避難場所
- 協定締結先

## 逃げどきマップ索引図

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 19～20ページ<br>栗橋地区    | 5 27～28ページ<br>久喜・菖蒲・鷺宮地区 |
| 2 21～22ページ<br>栗橋・鷺宮地区 | 6 29～30ページ<br>久喜・菖蒲地区    |
| 3 23～24ページ<br>久喜・鷺宮地区 | 7 31～32ページ<br>菖蒲地区       |
| 4 25～26ページ<br>久喜地区    | 8 33～34ページ<br>菖蒲地区       |

